

海外短期プログラム参加者 報告書		※ 帰国後 15 日以内に提出してください。 ※ 提出された情報は、海外留学HPに掲載します。(色のついた部分に掲載しません)
留学先大学名	梨花女子大学 (国名: 韓国)	
参加プログラム名	Ewha International Summer Session II	
プログラム期間	2019 年 8 月 5 日 ~ 2019 年 8 月 21 日	
学部/学府・年次	生物資源環境科学府 農業資源経済学専攻	1 年次
参加に要した費用	協定に基づく授業料免除の有無 → 有 「有」の場合、免除額を記入してください(全額)	
	航空運賃はいくらかかりましたか? (28,360 円)	
	その他相手先大学に納入した費用を具体的に記入してください(例: 教材費、宿舎費、オプションの見学旅行など) ・教科書代(13,000 ウォン) ・フィールドトリップ費(26,000 ウォン) ・寮費(48,000 ウォン)	
このプログラムを選んだ理由	・韓国語と韓国文化に興味があったため。 ・期間と時期が学校生活をおくる上でちょうど良かったため。 ・授業料が免除されるため。	
進路の予定	1. 就職 (時期: 2021 年 4 月から) 2. 大学院進学 3. その他(具体的に:)	
1. 参加プログラムと大学について		
プログラム(カリキュラム等)の概要について	基本的に、午前中は韓国語の授業(9:00~10:15、10:30~11:45)で、午後は 13:30~15:00 まで韓国の経済や韓国の伝統音楽についての授業が英語で行われます。そのあと、フィールドトリップ(日によって行く場所と時間が異なります。だいたい 16:00 くらいまでに現地に集合して、18:30 までには解散です。内容は、国立中央博物館・韓国映画鑑賞・K-POP ダンス体験・SM タウン・観光のお寺の伝統的な食事作り・MBC ワールドです。)があります。基本的に、土、日はプログラムはありません。最初の週の金曜日と土曜日(8 月 9~10)は、1泊2日で平昌に行きました。 寮のチェックインの次の日に、韓国語の授業のクラス分けのためのスピーキングテスト(リーディングテストは事前にネットで受けます。)と、開講式があります。 韓国語の授業の最終日には、テストがありますが、私のクラスは選択式でそこまで難しくありませんでした。寮のチェックアウトの前日に、閉校式があって、修了書をもらえます。	

<p>主催大学のサポート体制について (語学面／勉学面／精神面／住居・生活面など)</p>	<p>何かあれば、代表者の方のいるオフィスに行けば大丈夫だと思います。寮にも事務所があります。私は、特に、お世話になることはありませんでした。</p> <p>フィールドトリップの場所までは、大学の職員が引率して連れて行ってくれます(各自で行っても大丈夫です。引率してくれる方もその場所がよく分かっていないことも多いみたいでした)。平昌のときは、大学が手配したバスで行きました。</p> <p>空港から学校まで行くときはピックアップサービスがあります。一度に最大 3 人までで、一つの車当たり 75,000 ウォンかかります(3 人乗れば一人当たり 25,000 ウォンです。)</p>
<p>プログラムおよび大学に対する感想</p>	<p>韓国語の授業では、パートナーを組んで、会話の練習をする機会が結構あり、スピーキングの良い練習になりました。</p> <p>また、午後からの授業は、韓国や北朝鮮を知る上で、意義深いものでした。さらに、英語で行われるので英語のリスニングの勉強にもなりました。</p> <p>フィールドトリップは、伝統的なものと現代の韓国文化を実際に体験することができて良かったです。</p> <p>毎日、韓国語と韓国文化を学ぶことができ、新鮮なことも多く、充実した2週間でした。</p>
<p>同じプログラムを希望する人々へのアドバイス</p>	<p>平日は、朝から夕方まで授業やフィールドトリップがあり、スケジュールは結構詰まっています。途中で体調を崩した人もいたので、体調管理には気を付けたほうが良いです。</p> <p>でも、せっかく韓国に来たので、自由時間には韓国の観光地に行ったり、韓国料理を食べたり、積極的に韓国文化に触れることも重要だと思います。</p> <p>また、日本からきている学生が多いですが、ベトナムやドイツ、イギリスなどからきている学生もいるので、いろいろな国の人と仲良くなる良い機会でもあります。</p>
<p>2. 事前手続き(ビザ申請などが必要であった場合)</p>	
<p>ビザの種類</p>	<p>ビザは必要ありません。</p>
<p>ビザ申請先</p>	
<p>必要書類、手続き方法</p>	<p>海外保険</p>
<p>手続きに要した時間</p>	<p>留学課で手続きをして、生協でお金を払います。</p>
<p>その他必要な事前手続きがあれば記入してください</p>	
<p>3. 日常生活</p>	
<p>日常生活の概要、感想</p>	<p>ソウルは地下鉄が発達しているので、地下鉄を乗りこなせば、大抵のところには行けます。場合によっては、バスの方が早いこともあるので、調べたほうが良いです。バスは、前から乗って、後ろから降ります。地下鉄でもバスでも T-money カードというチャージして使う交通カードがあると便利です。今回は学生証にその機能が付いていました。</p> <p>食事は、だいたいキムチが出てきて、辛い料理も多いです。</p>

生活費(全期間)及びおおよその内訳	お土産代なども含めて、約4万円(洗濯:約 1,000 円、交通費:約 6,300 円(ピックアップサービスを含む)、食費:約 25,000 円、その他)
日本から持参した方がよいもの(PCや変圧器等の要不要も)	・変圧プラグ ・ドライヤー
日常生活(治安対策を含め)に関するアドバイス	治安は日本とそれほど変わらないと思います。ただ、夜遅くで歩くのはやはり危ないので、控えたほうが良いです。 また、コンビニや本屋の袋は有料です。会計の時に袋が必要か聞かれます。コンビニでは、お箸やスプーンは自分で取らなくてはいけません。
お金の管理や受け取り(銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など)について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。	・現金とクレジットカード、両方あったほうが良いと思います。 ・現地での銀行口座開設は特に必要ありませんでした。
4. 宿舎、生活環境	
宿舎の種類(○印をつける)	○大学の寮 ホテル・その他()
立地	大学の敷地内
伝えたい地域情報、生活情報	寮に洗濯室はありますが、現金は500ウォン玉しか使えません。そのため、洗濯機と乾燥機用のカードを買ったほうが良いです。時間はそれぞれ1時間かかります。 また、寮の部屋は、一人部屋か二人部屋を選択できます。部屋によって、シャワーやトイレがついている部屋と共同の部屋があります。(自分で選ぶことはできません。) 寮に食事はついていないので、外食かコンビニなどで買って食べるという形になります。私は、基本的に朝と昼はコンビニやスーパーで買って、夜は外食をしていました。
5. その他の特記事項	
日韓関係があまり良くない時に行ったので、行く前は心配でしたが、現地では大学の職員の方だけでなく、お店の店員さんの方も親切にしてくれる人は多かったです。	